事例No.	2457
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	中和地域づくり委員会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・移住定住 ・関係人口

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

持続可能な地域を目指して始まった
「中和いきいきプロジェクト」
～地域資源循環と移住者と地域で織り成す小さな里山資本主義～

出典

平成30年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域自立促進連盟 会長賞

中和地域づくり委員会（ちゅうかちいきいいんかい）

持続可能な地域を目指して始まった「中和いきいきプロジェクト」

～地域資源循環と移住者と地域で織り成す小さな里山資本主義～



中和地域の温泉施設に導入された薪ボイラー。地元小学校では補助燃料となる「竹筒燃料棒」をつくる環境学習を行い、実際に温泉施設の薪ボイラーに利用されている。

●●事例の概要●●



重くてかさばる薪の活用を通じて、世代を超えた人のつながりも新たに生まれている。

真庭市が中和地域を交流人口の増大に向けて取り組むモデル地区に指定したことを受けて、「中和地域づくり委員会」が中心となり様々な取組を行っている。

具体的には、地域外に流出していた消費を、地域内の資源を活用することで地域内で経済を循環させる「薪プロジェクト」、都市部の若者が昔からの暮らしやなりわいを地域に入り地域から学び、持続可能なライフスタイルを模索する「真庭なりわい塾」、庭先で栽培した余った作物を出荷することで、やりがいや生きがいを創出し、出荷者同士のコミュニティ強化を図る「庭先野菜プロジェクト」の３本を柱とした「中和いきいきプロジェクト」を展開し、地域住民も移住者も子どもから高齢者まで、みんながいきいき活躍できる地域を目指している。

また、移住者の中には、薪の生産販売や地元農産物の加工販売を手がける者や、地域のコミュニティの場となっている直売所兼カフェを経営する者もおり、活動の成果が着実に広がっている。

●●評価のポイント●●

真庭市は平成 17 年に９町村が合併して誕生したが、その際、９町村を単位とする地域づくり委員会を設置する条例をつくり、最も小さな自治体だった旧中和村に置かれたのが「中和地域づくり委員会」である。現在 248 世帯 610 人の中和地区が活性化に向けて地域の色々な動きをキャッチして人と人を繋ぎ、地域に活力を生み出してきた。

取組のきっかけは中和地域づくり委員会が実施した全戸配布のアンケート調査であり、今後 10 年間で地域内人口の約 22%（150 人）が減る予測を受けて、小学校が存続できる持続可能な地域づくりをめざす機運が高まった。U ターン者を中心にして生まれた薪生産組合を「薪プロジェクト」と位置付け、庭先で採れた野菜を出荷することで生きがいに繋げる「野菜プロジェクト」、農山村の暮らしから持続可能なライフスタイルを都市住民に学んでもらう「真庭なりわい塾」（市との協働事業）とともに、「中和いきいきプロジェクト」として地域づくり委員会のもとに体系化し、活動を展開している。薪プロジェクトは地元の宿泊施設の薪ボイラー化を実現し、なりわい塾は３期目に入り、移住者も出現した。さらに 29 年からは、空き家を活用し移住定住を進める「空き家再生プロジェクト」も開始されている。

児童数 24 人の中和小学校は、「学校の森・子どもサミット」に３年連続で参加するなど、「地域いきいき学習」を展開し、総合学習ではボイラー用の竹筒燃料などもつくる。29 年に地域の女性の主導により、支援組織「中和いきいきサポーターズクラブ」が誕生し、中学生から 70 代まで 70 名の会員がいる。現在、真庭なりわい塾生との協働で、空き店舗を子供の学習活動や住民の会話の場に使える建物に改修中である。

小さな社会は縦割りでは動かない。中和地区では少ない住民が横に繋がって暮らしを豊かにする仕組みが次々に生まれていて、地域づくり委員会がそれを繋いで下支えする役割をしっかりと果たしていることが、中山間地域の小地域社会の持続的展開事例として大きな評価に値する。



家庭菜園等で栽培し余った野菜の出荷を通して、出荷場所での生産者同士の会話も弾み、コミュニティの強化に役立っている。



地域のお年寄りから昔ながらの暮らしぶりを伝承するため、聞き書きしている。講師を務めることで自分たちの暮らしや地域に対する誇りが生まれている。



約 70 世帯の住民から聞き取りを行い、地域自らが主体的に中和にある様々な魅力の発掘を行っている。

DATE　岡山県 真庭市（まにわし）

団体名▶中和地域づくり委員会
所在地▶〒717-0513　岡山県真庭市蒜山下和1802番地(真庭市蒜山振興局中和出張所内)
連絡先▶TEL:0867-67-2111　FAX:0867-67-2205
E-mail:
URL:なし

【交通のご案内】
自動車▶米子自動車道　久世ＩＣから約50分
米子自動車道　湯原ＩＣから約30分
鉄　道▶岡山駅から津山駅(JR津山線:約70分)を経由して
津山駅から久世駅(JR姫新線:約40分)
飛行機▶岡山空港から車で約60分



▶国勢調査人口（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
真庭市	76,378	60,586	54,747	51,782	48,964	46,124

▶人口増減率（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
真庭市	-39.6	-23.9	-15.8	-10.9	-5.8

▶高齢者・若年者比率（H27 年）（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
真庭市	36.6	10.3